

ミュージアムショップ
Museum Shop

古代の円筒印章をアクセサリーに

円筒印章は、円筒形の石に文様を刻んだもので、それを転がすことによって連続文様を写し出す、いわば「ころころスタンプ」です。ただし、現代のようにインクや朱肉を使うのではなく、湿った粘土の表面に転がして凹凸の文様を表わしました。中心に孔があいており、紐を通して身につけられていたと考えられています。

5000年以上前から使われていたメソポタミアの円筒印章をアクセサリーにしました。当館所蔵資料から型を取った樹脂製です。もちろん、実際に粘土に転がして文様を表

わすこともできます。実物の石の雰囲気に近い色調のもの、透明な材質を使ったものなどお好みに合わせてお選びいただけます。



円筒印章 Cylinder Seal
¥ 1,100 (紐やチェーンは別売)

利用案内 Visitor Information

横浜ユーラシア文化館

Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12
12 Nihon Odori, Nakaku, Yokohama, Japan 231-0021
Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

開館時間 9:30 a.m. ~ 5:00 p.m.
(入館は 4:30 p.m. まで)
休館日 毎週月曜日・年末年始ほか
入館料 一般 200 円
小・中学生 100 円
企画展開催時には別料金になることがあります。
毎週土曜日は小・中学生、高校生無料。
「障害者手帳」・横浜市の「濱とも力ード」等をお持ちの方には、入館料の減免制度がありますのでお尋ねください。
Hours 9:30 a.m. - 5:00 p.m.
(Admission until 4:30 p.m.)
Closed Mondays and year-end/
New Year's recess
Admission ¥200 for adults
¥100 for primary and junior high school students



Map in English → Website

交通アクセス
みなとみらい線日本大通り駅3番出口から徒歩0分
JR 関内駅南口・市営地下鉄関内駅1番出口から徒歩約 10 分
Zero min. walk from Nihon Odori Sta. on the Minato Mirai Line.
10 min. walk from Kannai Sta. on the JR Line or Municipal Subway.

お知らせ Information

2011年5月2日(月)は開館、6日(金)は閉館、4月30日、5月1日、3日、4日は午後6時まで開館します。
Open on Mon. May 2, and closed on Fri. May 6, 2011.
Open until 18:00 on April 30, May 1, 3, and 4, 2011.

News from EurAsia No.14

横浜ユーラシア文化館ニュース第 14 号
企画・編集・発行 横浜ユーラシア文化館 2011年3月15日
デザイン/南オフィスエルク
印刷製本/ツルミ印刷(株)
禁無断転載

©2011 Yokohama Museum of EurAsian Cultures



News from EurAsia

横浜ユーラシア文化館ニュース

■ 目次 Contents

アートウォッチング p.2
Art Watching
竹筒琴
Bamboo Zither

ギャラリートーク p.4
Gallery Talk
特別展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流
ーアラビアの歴史遺産と文化ー」を開催して
On the Special Exhibition
"The Arabian Heritage from Sharjah, U.A.E.:
Exhibition in Japan 2010-2011"

コラム p.6
Column
変貌する中東
Evolving Middle East
廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

ミュージアムショップ p.8
Museum Shop

利用案内 p.8
Visitor Information

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

no. 14

Art Watching

アートウォッチング

ちくとうきん 竹筒琴

Bamboo Zither

竹
フィリピン
20世紀
左：長さ 58.3 cm 径 6.2 cm
右：長さ 62.2 cm 径 6.8 cm

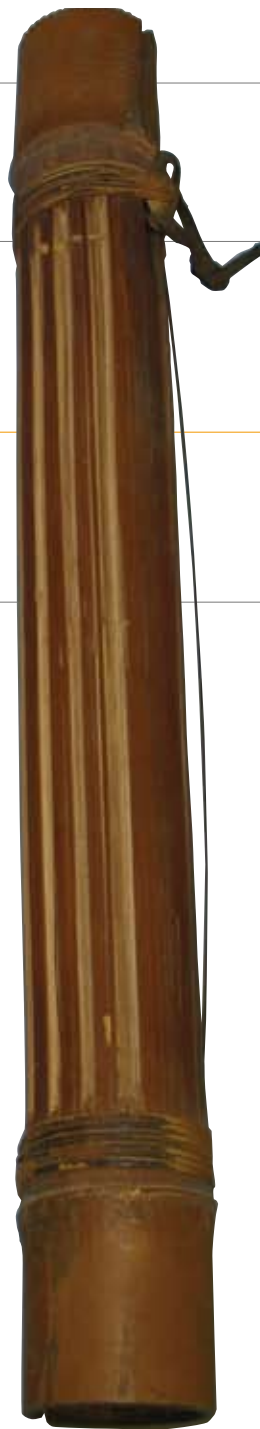
Bamboo
Philippines
20th century C. E.
left: L. 58.3 cm D. 6.2 cm
right: L. 62.2cm D. 6.8 cm

竹の一節を素材に作った弦楽器です。竹には節がありますから、両端に一つずつ節を残して竹を切り取ることで、中が空洞の素材ができます。これを楽器のボディにします。

ボディにする竹の表面を、切り離さないよう繊維

に沿って薄く削ぎ、竹の小片を挟んで持ち上げて弦にします。強靱でしかも柔軟な繊維を持つ竹だからこそできる弦の作り方です。弦を持ちあげる竹の小片は固定されておらず、これを移動させて音程を調節します。

ボディには、節に近い部分に丸みを帯びた細長い三角形の孔があります。また、節そのものにも孔が穿たれてい



ます。この孔が、竹の内部で共鳴する音を外に解き放つ役割をします。

両手の指で弦を弾いて演奏します。涼しげで優しい音色が響きます。

竹筒琴は、フィリピンをはじめ、東南アジアの国々に広く見られる楽器です。身近な材料で、材料の特徴を最大限に活かして作り上げられた工芸品であり、豊かな自然の恵みの中で暮らしてきた東南アジアの人々の知恵と技術を物語ります。

(畠山 禎)

A bamboo zither is a string instrument made from a single bamboo section. Its strings are stripped from the surface of the bamboo itself and are raised by small bamboo chips. Players can adjust the string pitches by moving these chips. Sound holes are drilled on both sides and sections of the body. The player plucks the strings with the fingers of both hands, producing a cool and gentle sound.

Bamboo is strong and pliable. Moreover it has a naturally hollow form. People in South-east Asia have versatile uses for bamboo as a raw material. The bamboo zither is an excellent example of how the craftsmen in this region combine their skill with the blessings of their natural environment to create beauty. (Tei Hatakeyama)

竹筒琴は、2011年夏の企画展「フィリピンハロハロでグー！ーフィリピンの歴史と文化ー（仮称）」（2011年7月16日～9月25日）に展示されます。

These zithers will be exhibited at YMEAC from July 16 to September 25, 2011.

Gallery Talk ギャラリートーク

特別展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流 —アラビアの歴史遺産と文化—」を開催して

On the Special Exhibition “The Arabian Heritage from Sharjah, U.A.E.: Exhibition in Japan 2010-2011”

アラビアで砂漠や港を掘ると、海のシルクロードが見えてくる、という壮大なロマンに惹きつけられたのは3年前の夏。「東西世界の交流という視点でアラビアの歴史を紹介する展示を、世界に先駆けて開催しよう」と関連機



開会式 Opening Ceremony

佐々木達夫シャルジャ展日本開催委員会委員長・金沢大学教授、アル＝オワイス シャルジャ首長国文化情報大臣、林文子横浜市長、アル＝ノウァイス駐日 UAE 大使、大滝正雄横浜市長、高村直助横浜ユーラシア文化館館長（左から）Dr. Tatsuo Sasaki, Chairman of the Sharjah Exhibition Committee in Japan, H.E. Mr. Abdullah Al Owais, Chairman of the Department of Culture and Information, Sharjah Government, The Honorable Ms. Fumiko Hayashi, Mayor of the City of Yokohama, H.E. Mr. Saeed Al Nuwais, Ambassador of the U. A. E. to Japan, Mr. Masao Otaki, Member of the Yokohama City Council, Dr. Naosuke Takamura, Director of YMEAC (from left to right)

関に速報の如くメールが届きました。発信元は、アラブ首長国連邦で1987年から考古学調査を実施されてきた金沢大学の佐々木達夫教授。佐々木先生を中心に国内外での日程調整や展示準備が慌しく進められ、2010年4月に金沢の石川県立歴史博物館から始まったのが、このアラブ首長国連邦シャルジャ首長国の文化遺産展でした。

その後、岡山市立オリент美術館、新潟県立歴史博物館、天理大学附属天理参考館へと巡回したシャルジャ展は、横浜を最後の開催地として2011年2月19日に当館でのオープニングを迎え、横浜市長をはじめ、大勢の市民が集いました。中庭で行われた開会式では、アラブ諸国の駐日大使らもシャルジャ展開催を祝して列席される中、林市長の英語の挨拶、シャルジャ政府文化情報大臣アル＝オワイス閣下のアラビア語のスピーチが響き渡り、国際色豊かなセレモニーが繰り広げられました。その後の特別観覧では、スルタン アル＝カシミ湾岸研究所のアル＝マリ所長自らがシャルジャ首長スルタン殿下の世界的な古地図コレクションの解説をされるなど、文化交流の輪が広がりました。さらに、日本で

は目にすることが少ないアラビア書道や現代アート作品など多彩な展示内容に、多くの人々が魅了されました。

シャルジャ展は色々な意味で正に「特別展」でした。シャルジャ首長殿下はじめ文化情報省の大臣、局長、湾岸研究所長、アラビア書道のアーティスト、シャルジャ国営テレビクルー、伝統音楽舞踊団、そして日本開催館の多くの人々がともに主催者として協力し合い、成功を誓った展覧会でした。また、横浜市の様々な部局の協力も得て、シャルジャ展の開幕を盛大に祝うことができました。今後も、横浜・シャルジャのさらなる文化交流に当館が寄与できれば幸いです。（福原庸子）

On February 19th, 2011, Yokohama Museum of EurAsian Cultures celebrated the opening of the Sharjah Exhibition in the esteemed presence of the Arab League ambassadors to Japan and many other distinguished guests. Mayor Ms. Hayashi and H. E. Mr. Al Owais of Sharjah exchanged congratulatory speeches in English and Arabic in front of a large audience. Then the guests together with Sharjah delegation enjoyed the preview which highlighted a wide range of Arabian culture through some 500 precious objects brought from Sharjah. The Sharjah Exhibition, truly a special one for YMEAC, was a crystallization of enthusiasm and cooperation of many individuals and institutions in Japan and Sharjah. (Yasuko Fukuhara)



特別観覧 Preview

アル＝オワイス大臣、アル＝ノウァイス大使、高村館長、アル＝マリ スルタン アル＝カシミ博士湾岸研究センター所長（右から）H.E. Mr. Abdullah Al Owais, H.E. Mr. Saeed Al Nuwais, Dr. Takamura, Mr. Ali Almarri, General Director of Dr. Sultan Al Qassimi Centre of Gulf Studies (from right to left)



伝統音楽舞踊団との踊りの輪
Visitors Dancing with Sharjah Traditional Music Band



アル＝ジャラフ氏によるアラビア書道実演
Calligraphy by Mr. Ali Al Jallaf

変貌する中東

Evolving Middle East

廣瀬徹也 Tetsuya Hirose

横浜ユーラシア文化館では、特別展「シ
ャルジャ、砂漠と海の文明交流—アラビ
アの歴史遺産と文化—」が開かれ、ペル
シャ湾岸が石油だけではなく、歴史遺産
の宝庫でもあることを目の当たりにされ
た方も多いだろう。金沢大学との考古学
を通じた交流から実現した展覧会だそう
だ。ペルシャ湾岸の産油国は稼いだオイ
ルマネーで人材や労働力を外国人に頼っ
てきたが、近年、長期的視点から、自国
民の人材育成に力を入れている。その一
環として、日本式の方法が注目され、
日本への留学のほか、子供を現地日本
人学校や公文書の教室に通わせる親も増
えている。これら諸国と日本が、石油・
ビジネスのみならず、文化や教育の面
でもつながっているのは嬉しいことだ。

本年 10 月からは古代エジプトのファ
ィアンス（焼き物の一種）の展示が予定
されていると聞く。これまた楽しみである。

ところが、これら中東・北アフリカの
諸国にいま大規模な民衆による反政府デ
モという形で民主化要求の波が押し寄せ
ている。本年 1 月チュニジアで民衆のデ
モによって、23 年間にわたるベン・アリ
大統領の強権体制が転覆したのをきっか
けにエジプト、イエメン、ヨルダン、ア
ルジェリアでデモが発生。エジプトでも、
29 年にわたり強権支配してきたムバラク
大統領が辞任に追い込まれた。これら大
衆の抗議行動の背景には概ね、高失業率、
インフレ急騰による生活苦への不満があ
り、ツイッターやフェイスブックなどイ
ンターネットを通じた情報伝達で若者を
中心に多くの市民がデモに参加した。

エジプトでは目下軍が権限を掌握して
いるが、6 か月以内に憲法改正の国民投
票を行った上で大統領選挙と議会選挙を
行い民生移管すること、また全ての国際
条約（1979 年のイスラエルとの平和条約

も含まれよう）を順守することを確約し
ており、米国はこれを歓迎したが、長年「ア
ラブの盟主」的な存在として、米国の莫
大な援助と引き換えに、アラブ諸国と米
国やイスラエルの仲介を行い、国内では
イスラム過激派などのテロ抑制を図って
きたムバラク政権が崩壊したことによっ
て米国は対中東外交の見直しを余儀なく
されている。欧米やイスラエルはエジプ
ト次期政権のイスラーム主義への傾斜を
懸念している。

一方、政教一致を国是とし、米国とイ
スラエルを敵視するイランは、ムバラク
政権の打倒を歓迎したが、その後イラン
国内では反体制派と政府支持者が衝突し
た。さらにバーレーンではシーア派民衆
によるデモが発生した。リビアではカダ
フィ大佐の強権政治に対する抗議運動を
政府軍が弾圧し、武力衝突が続いている。
止まるところのないこのような民衆の抗
議のうねりは、大統領による強権政治が
続く中央アジアやコーカサス諸国にも飛
び火するかもしれない。中国では、当局
はインターネット上からエジプト情勢や
民主化要求の書き込みを削除し始めた
と報じられている。

中東の民主化のためには、まずはエジ
プトの民主化の成功が肝要である。その
観点から、国民の大半がイスラーム教徒
でありながら、世俗主義（徹底した政教
分離）を国是とし、議会制民主主義が定
着しているトルコの経験があらためて注
目を集めている。（2011 年 3 月 3 日記）

Oil-producing countries around the
Persian Gulf have depended on foreign

manpower. However, in recent years,
these countries have begun to focus on
developing human resources of their own
people, and Japanese style education has
been introduced. Local Japanese schools
and Kumon classes attract Arab kids. It is
pleasing to see interaction between Japan
and these countries in areas other than oil
business.

However, recently, in the Middle East
and northern African countries, we have
seen a rise of a wave of demand for
democratization in the form of large-scale
anti-government demonstration by the
public. Behind these protests, there are
dissatisfactions with the government due
to high unemployment rate and inflation
spike. Information spread through Face-
book and Twitter, and many, especially
young people joined the demonstration.
The U.S. welcomed Egypt's decision to
democratize. However, the collapse of the
pro-U.S. government is forcing the U.S.
government to reconsider its Middle East
policy.

The trend of popular uprising may,
beyond the Middle East, spill over to
Central Asia and the Caucasus countries
under authoritarian regime. For democ-
ratization of countries in the Middle East,
it is vitally important that Egypt first
succeeds. There is much to learn from
Turkey where majority are Muslims but
secularism and parliamentary democracy
have been maintained. (March 3rd, 2011)

元大使 Retired Ambassador



古い街並み（左）と近代的な空間が交差するカイロ市内
民主化の波の中で、どう変わっていくのだろうか。
Traditional and Modern Cairo. Photograph by Tamako Takeda